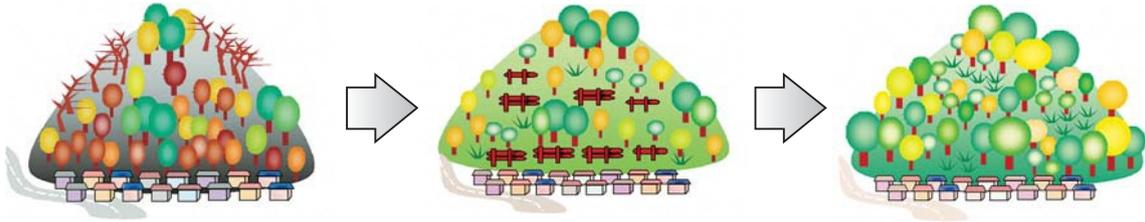


**里山林整備**

**1 活力が低下した里山林の再生**

病虫害被害木の伐採や補植を行い、公益的機能の回復を目指します。令和6年度は447ha実施見込みとなっています。



**2 人と動物の共存林・森林景観の整備**

人里に近い林内を整備し、明るく、見通しを良くすることにより、人里と奥山の緩衝帯（バッファゾーン）を作り、人里まで現れる野生生物が少なくなることが期待できます。こうした野生生物等の緩衝帯設置を目的とした森林整備を実施しています。

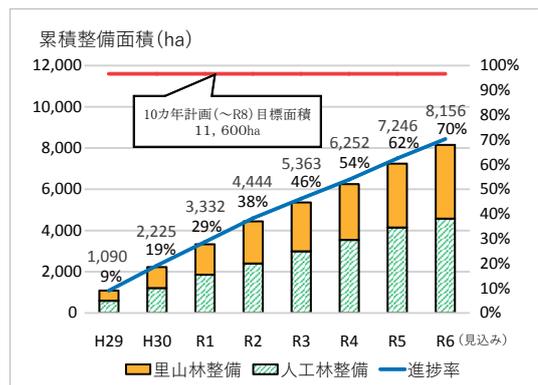
また、幹線道路沿い等で著しく景観が悪化している森林の整備を実施しています。令和6年度は31ha実施見込みとなっています。

**令和6年度の里山林整備の整備状況**



**平成29年度以降の荒廃森林緊急整備事業の実績**

平成29年度から令和8年度までの10年間で、11,600haの荒廃のおそれのある森林を整備する目標をたてており、令和6年度までに目標の70%を達成する見込みとなっています。引き続き目標達成に向けて整備を進めてまいりますので、御理解・御協力をよろしくお願いいたします。



## 再造林の支援(森林資源再生事業)について

# 再造林の支援(森林資源再生事業)について

森林の伐採後に植栽が行われず放置されると、森林の再生が遅れ、公益的機能の低下が懸念されます。森林資源再生事業では、森林の公益的機能を持続的に発揮させるため、やまがた緑環境税を活用し、再造林の経費の一部を支援しています。令和6年度は118ha 実施見込みとなっています。



苗木(コンテナ苗)と  
専用の穴あけ器具(ディプル)



苗木を植栽する穴をあける様子



穴に苗を植栽する様子

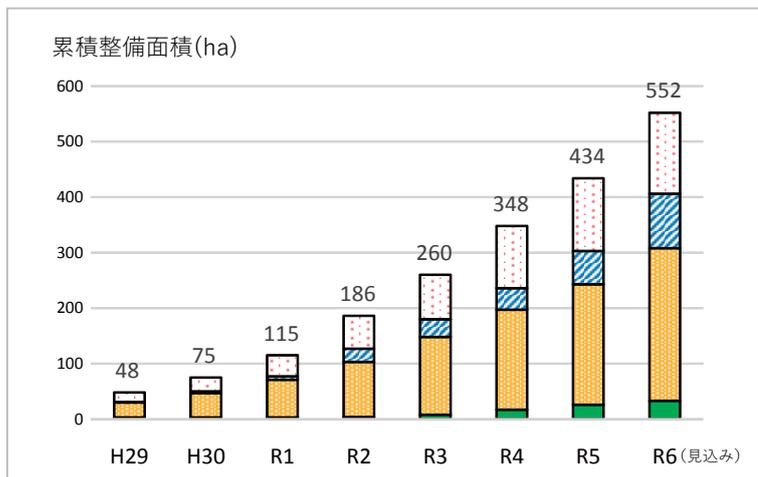


本事業で皆伐後の  
再造林を支援した  
箇所(白鷹町)

### 平成29年度以降の 森林資源再生事業の実績

平成29年度から令和6年度までに、552haの支援を実施見込みとなっています。

- 村山
- 最上
- 置賜
- 庄内



# 森林資源循環利用促進事業・ 広葉樹林健全化促進事業について

## 1 低質材の運搬経費の支援（森林資源循環利用促進事業）

間伐されたスギ等の木は全て利用されているとは限らず、形質が悪い・採算が合わない等の理由で、林内に放置されるものが多くあり、これらを林地残材と呼びます。林地残材は、利用できる資源であるにもかかわらず未活用であることや、大雨の時に流出する危険性があること等が課題となっています。

森林資源循環利用促進事業では、森林資源の循環利用を図り、森林の公益的機能の低下を防ぐため、伐採で発生した低質材を、合板用材やチップ・ペレット等の木質バイオマス燃料として利用するための運搬経費の一部を支援しています。毎年4万m<sup>3</sup>前後の事業実績があり、県内の未利用材の活用に貢献しています。令和6年度は合板等の素材利用として27,798m<sup>3</sup>、チップ・ペレット等の木質バイオマス燃料利用として15,747m<sup>3</sup>、合計43,545m<sup>3</sup>分の支援を行う見込みです。



林内に放置された林地残材



工場へ運材

木質バイオマス  
燃料用チップ



## 2 ナラ枯れ被害木を含むナラ林の伐採の支援 （広葉樹林健全化促進事業）

山形県内では、平成20年頃よりカシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害が顕著になり、県内全域でミズナラやコナラ等のナラ類が多数枯死しました。広葉樹林健全化促進事業では、ナラ林の若返りと害虫の駆除を行うため、ナラ枯れ被害木を含むナラ林を伐採し、伐採木の搬出利用を行う伐採事業者に対して、経費の一部を支援しています。県内のナラ枯れ被害は近年減少傾向ですが、依然として村山地域を中心に被害が確認されているため、継続して被害拡大防止に取り組んでいきます。



カシノナガキクイムシ



ナラ枯れ被害林(赤く見えるのが枯死木)



ナラ枯れによる枯死木

# みどり豊かな森林環境づくりの推進について

やまがたの豊かな緑を県民共有の財産として健全な状態で未来へ引き継ぐためには、荒廃のおそれのある森林の整備と併せて、県民一人ひとりが森林や自然環境を自らに直接関わる問題として捉え、積極的に森づくり活動等に参加することが必要となっています。

そのため、県では、標記事業にて地域住民や市町村等の多様な主体が行う計画的かつ広がりのある活動や、地域と連携して行う森づくり活動等を支援することで、多様な主体による県民参加の森づくりの推進を目指しています。

## 事業内容

### ① 豊かな森づくり活動

地域住民との協働による里山林の保全活動等



クロマツの植樹



下刈り

### ② 自然環境保全活動

希少野生生物の生息地の保全活動等



ヒメサユリの植栽



生物観察

### ③ 森や自然とのふれあい活動

子ども達や地域住民に対する森林・自然環境学習等



森林環境学習



伐採体験

### ④ 木に親しむ環境づくり

木材の地産地消の取組み、木工体験等



木工体験



建築現場見学

## 各地域における取組み

### 村山地域

#### ① 豊かな森づくり活動

【天童市絆の森林田麦野地域運営委員会の取組み（県民提案型）】

天童市の「笠松」は、自然に恵まれた山村・田麦野地区に生育する市天然記念物で、樹齢600年を超える巨木です。地域のシンボルですが、なにぶん高齢のため、松くい虫はもちろん赤班葉枯病やその他害虫からの防除がかかせません。田麦野地区では、「天童市絆の森林」をフィールドとし、敷地内の笠松の樹勢を見守りながら、ブナ植栽地の手入や遊歩道整備を行っています。

【活動に参加した担当者の感想】

田麦野地区は、森林にとどまらず、バス停留所、畑、公園、花壇等、地区の細部に手入れが行き届いており美しく、住民に愛される里山です。地域全体を大切にしているからこそ、シンボルである笠松の保全のために、絶えず人が集まるのだと感じました。



「笠松」への薬剤散布状況